

Combi

コンビ チャイルドシート THE S シリーズ

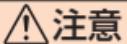
取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

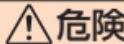
- 本書はベースカバーの収納ポケットに保管してください。
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。

本製品は、UN R129/03において認可された特定車両ISOFIXチャイルドシートです。

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。
ただし、ISOFIX取付金具（バー）を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書を確認してください。
- お子さまの条件：身長 105cm または、体重 19.0kg まで



お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。



お子さまの月齢が 15 カ月、かつ身長が 76cm を超えるまでは、前向きで使用しないでください。

お使いいただく前に

各部の使いかた

車への取り付け・
取りはずし

お手入れ・その他

もくじ

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	7
取り付けできる座席	9
取り付けできない座席	10
安全にお使いいただくために	11

各部の使いかた

リクライニングのしかた	17
回転のしかた	18
シートの取りはずし、取り付けのしかた	19
幼児肩ベルト位置の調節のしかた	21
お子さまを座らせかた	23
お子さまの降ろしかた	26

車への取り付け・取りはずし

取り付け準備	27
車への取り付けかた	29
取り付け完了チェックのしかた	32
車からの取りはずしかた	33

お手入れ・その他

インナークッションの使いかた	35
幌の使いかた	37
カバーの取りはずしかた・取り付けかた	40
お手入れのしかた	43
保管・廃棄のしかた	44
品質保証書	45
問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

〈中古品のご使用について〉

- ・ 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ・ ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

- ご使用前に、「品質保証書」に次の項目を記入してください。

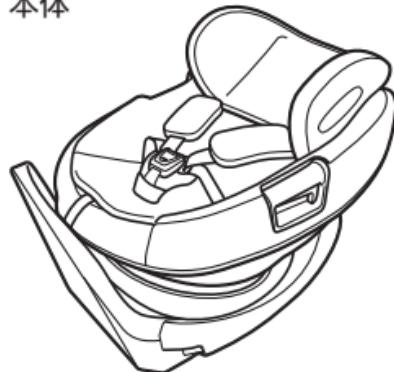
- ①製品名とロットNo.（ヘッドガード裏側に貼ってあるシールに記載されています）
- ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③販売店名

- レシート（領収書）を本書といっしょに保管してください。

※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

梱包内容

本体



インナークッション



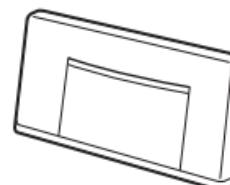
ISOFIX キャップ



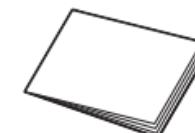
幌



ベースカバー



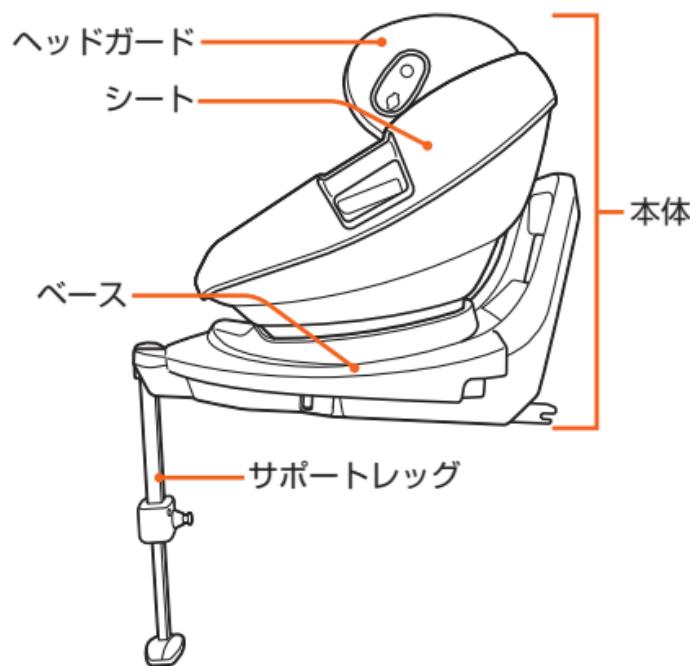
取扱説明書（本書）



お客様登録カード



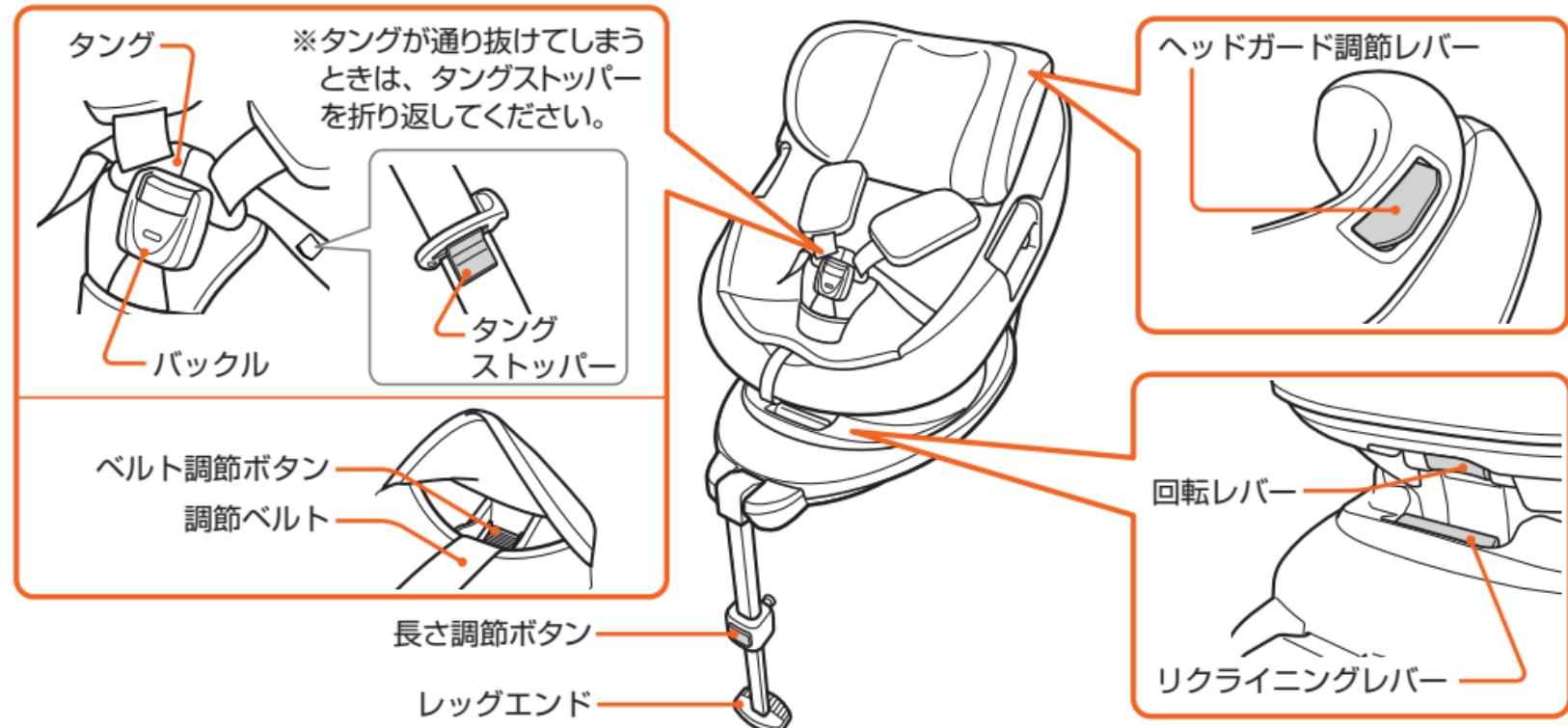
本書で使われる「本体」「シート」「ヘッドガード」「ベース」「サポートレッグ」とは、下記の部位をいいます。



各部のなまえ

お使いいただく前に

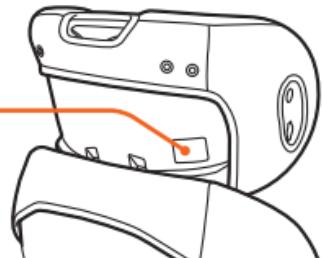
正面



側面

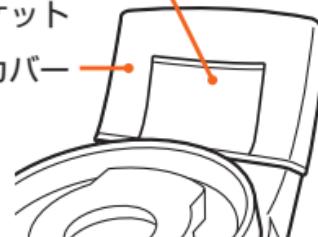
背面

製品名 /
ロット No.



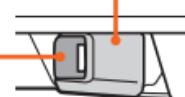
着脱レバー

取扱説明書
収納ポケット
ベースカバー



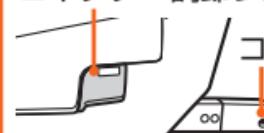
2nd ロック
解除ボタン

コネクター
解除レバー



コネクター調節レバー

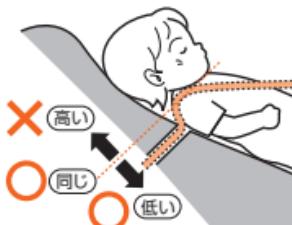
コネクター



ご使用の条件

お使いいただく前に

ここでは、お子さまの身長によるシートの向き、インナークッションの使いかたなどを説明しています。

後向き(進行方向に対して後向きに取り付け)	
お子さまの条件	インナークッションの使用条件
<p>身長 40cm → 身長 105cm まで または体重 19.0kg まで</p>  <p>危険 お子さまの月齢が 15 カ月、かつ身長が 76cm を超えるまでは、前向きで使用し ないでください。</p> <p>ワンポイント お子さまの足が車両背もたれにあたるな ど、後向きでの使用が体格に合わないと感 じた場合は、前向きで使用してください。</p>	<p>使用する</p>  <p>身長 40cm ~ 65cm 未満</p> <p>必ずインナークッション を正しく取り付けて、お子 さまの体に フィットした 状態で使用し てください。</p> <p>警告</p> <p>身長 65cm ~ 76cm 未満</p> <p>お子さまの体格や成長に あわせて ベルトが窮屈に感じたと きは、使用をやめる</p> <p>身長 76cm 以上</p> <p>X</p> <p>幼児肩ベルトの位置について</p> 

前向き(進行方向に対して前向きに取り付け)

お子さまの条件	インナークッションの使用条件
月齢15カ月 かつ身長76cm以上	→ 身長105cm または体重19.0kgまで
 <p>危険 お子さまの月齢が15カ月、かつ身長が76cmを超えるまでは、前向きで使用しないでください。</p>	
<p style="text-align: center;">使用禁止</p>	
<p>幼児肩ベルトの位置について</p> <p>幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。</p> 	

取り付けできる座席

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。

ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適応しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/



本製品のISOFIXサイズクラス

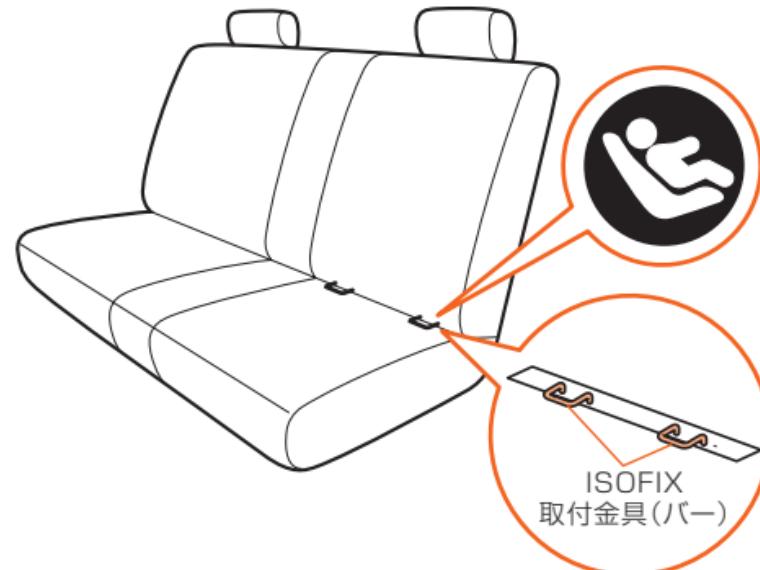
チャイルドシートの向き	固定具
後向き	R2、R3
前向き	F3*

*後向きでヘッドガードの位置を高くしたときに、前座席にあたる場合があります。その場合は、前座席の位置を調整してください。

*前向きでリクライニングを1番立てた状態以外で使用するときは、全ての車両に取り付けられるものではありません。

ISOFIX取付金具について

ISOFIX取付金具とは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

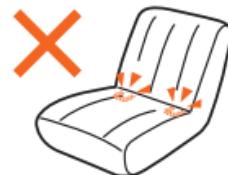


取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

- ISOFIX 取付金具（バー）が装備されていない座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- サポートレッグの先端部に座席のスライドレールや床下収納スペースなどがある座席。



- フロントエアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- 座面の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



- 床に対して座面が低い座席または高い座席、床の形状などにより、サポートレッグを正しく取り付けできない座席。



安全にお使いいただくために

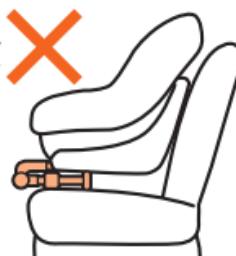
危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けないでください。必ずサポートレッグを出して、長さを調節してください。



- 本製品は車両シートベルトで固定することはできません。

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- フロントエアバッグ装備の座席では、使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



⚠ 危険

- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰、正座をしないように注意してください。



⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



- チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクリニングや回転の操作ができない、またはロックできない場合があります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、取りはずせない場合は他の座席に取り付けてください。

安全にお使いいただくために

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシユーマープラザへお問い合わせください。



- 幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシユーマープラザへお問い合わせください。



- 調節ベルトがシートカバーに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



！警告

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ずコネクターで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。



- 緊急時に同乗者の脱出のさまたげになる座席には、チャイルドシートを取り付けないでください。



安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。
- 直射日光があたると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがヤケドをすることがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。
- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。



- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、転倒してけがをするおそれがあります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。

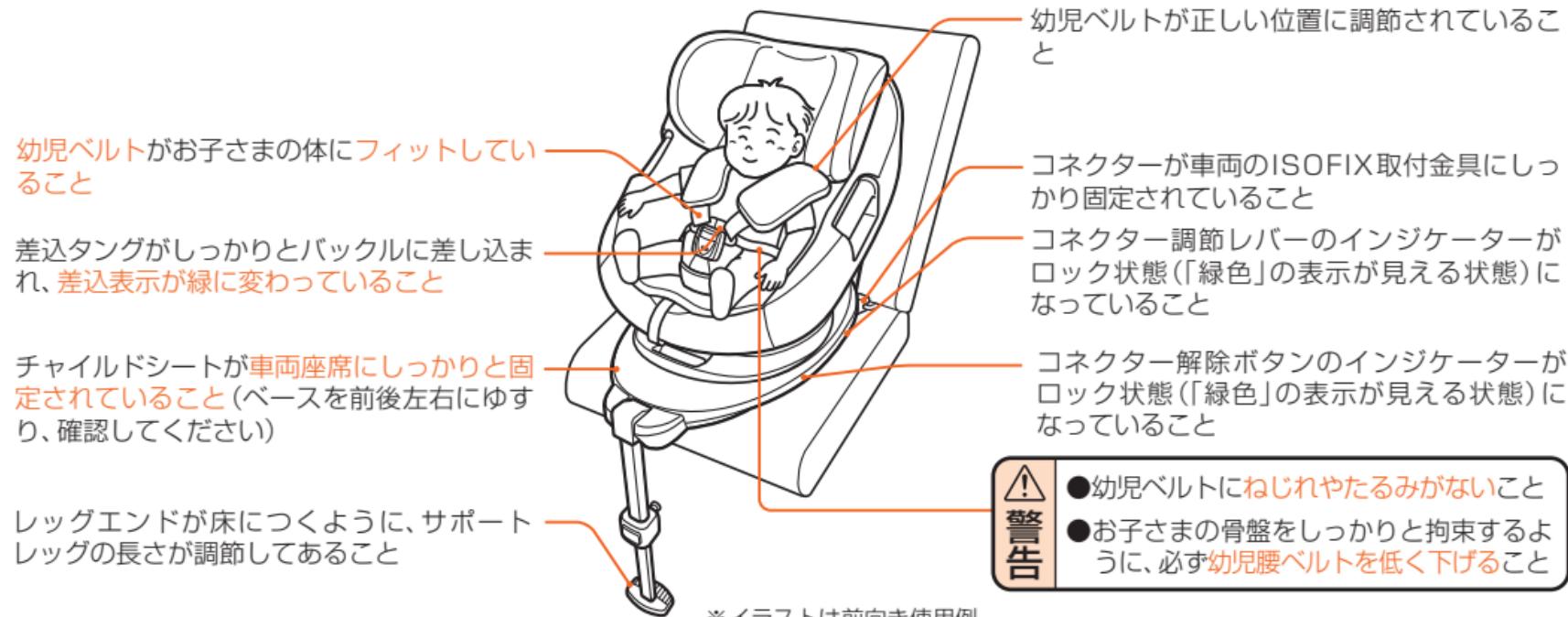


- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

⚠️ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



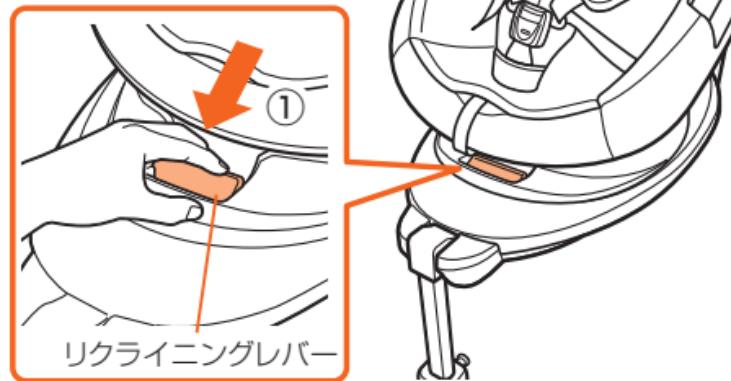
- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルトを低く下げる**こと

リクライニングのしかた

お子さまの様子にあわせて、5段階に角度を調節することができます。

各部の使いかた

- 1 ① リクライニングレバーを手前に引きながら、
② シートのリクライニング角度を調節する。(前向き/後向
きともに5段階)



- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2 リクライニングレバーから手を離してシートを前後にゆすり、ロックされていることを確認する。

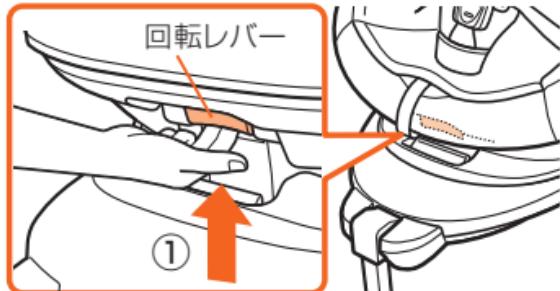


操作後、リクライニングレバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

回転のしかた

お子さまの乗せ降ろしをしやすくするため、シートを回転することができます。

- 1** ①回転レバーを押し上げながら、シートをまわし、
②動き始めたら回転レバーから手を離し、「カチッ」と音がしてロックするま
で、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。

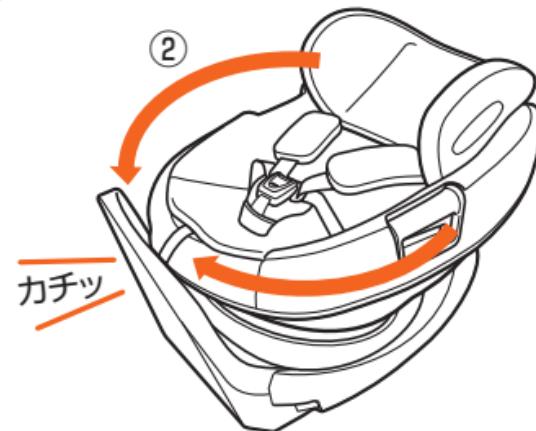


ワンポイント

● 後向きで回転レバーに指が届きづらいときは、リクライニングを1番立てた状態にすると届きやすくなります。

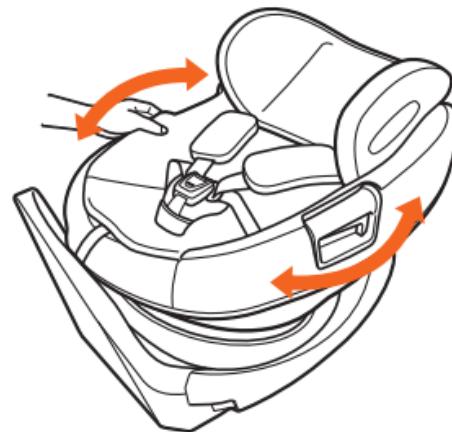
危険

- シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能を果たさず危険です。
- 走行中は回転操作をしないでください。

**注意**

- 回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2** シートを左右にゆすり、ロックされていることを確認する。
※構造上シートに遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。

**警告**

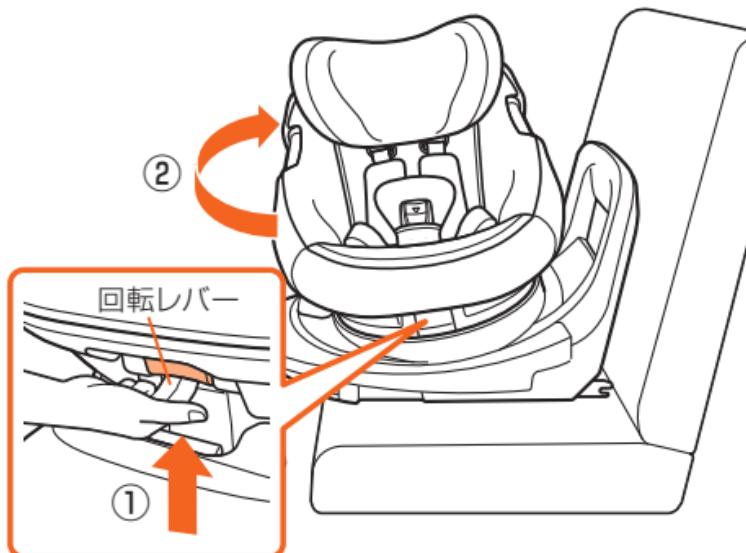
- 操作後、回転レバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

シートの取りはずし、取り付けのしかた

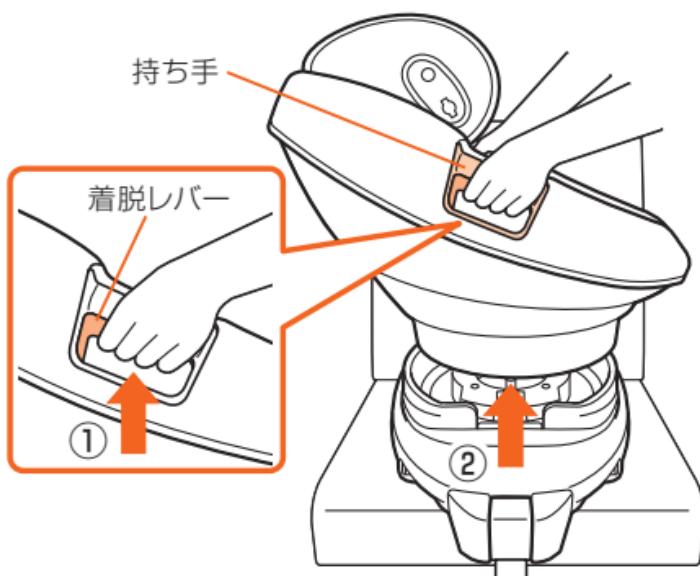
車両への取り付けをしやすくするため、シートを取りはずすことができます

シートを取りはずす

- 1** ①回転レバーを押し上げながら、
②シートをベースに対し90°まわす。
(「回転のしかた」参照)

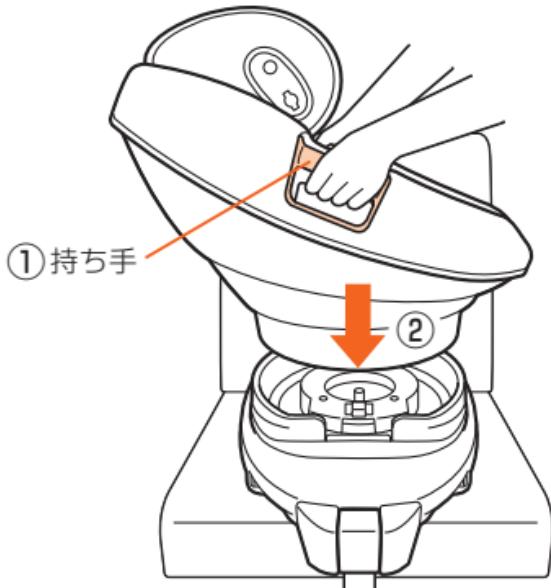


- 2** ①左右両側の持ち手にある着脱レバーを握りながら、
②シートを持ち上げる。
※ 片側だけの操作ではシートは持ち上がりません。

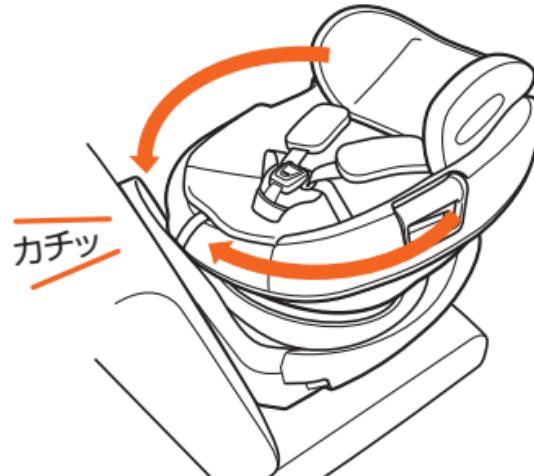


シートを取り付ける

- 1** ① シートがベースに対し、90° になるように持ち、
② シート底面をベースの円形状に合わせて置く。



- 2** 「カチッ」と音がしてロックするまで、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。



- 取りはずし、取り付け操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

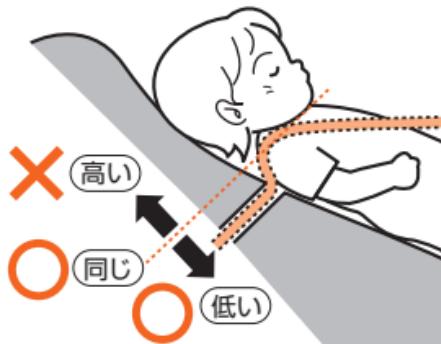
幼児肩ベルト位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は、8段階に調節することができます。

幼児肩ベルト位置の目安

●後向き使用時

幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置で使用してください。

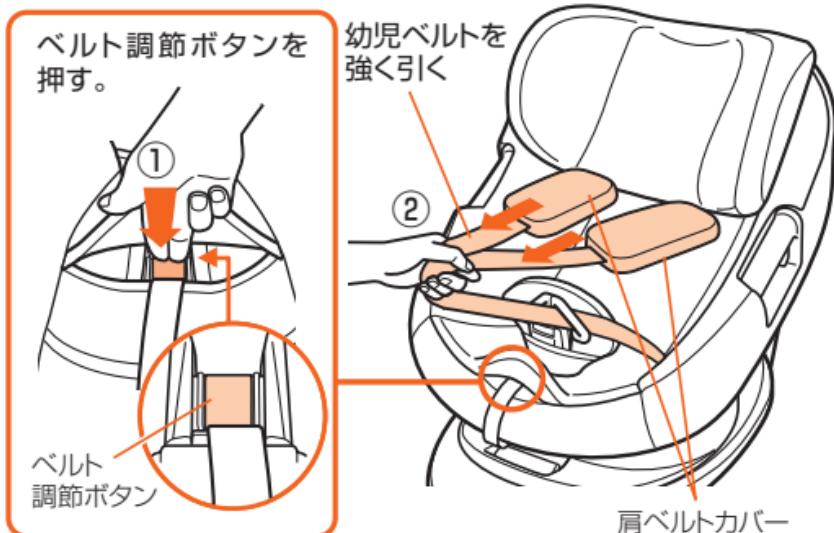


●前向き使用時

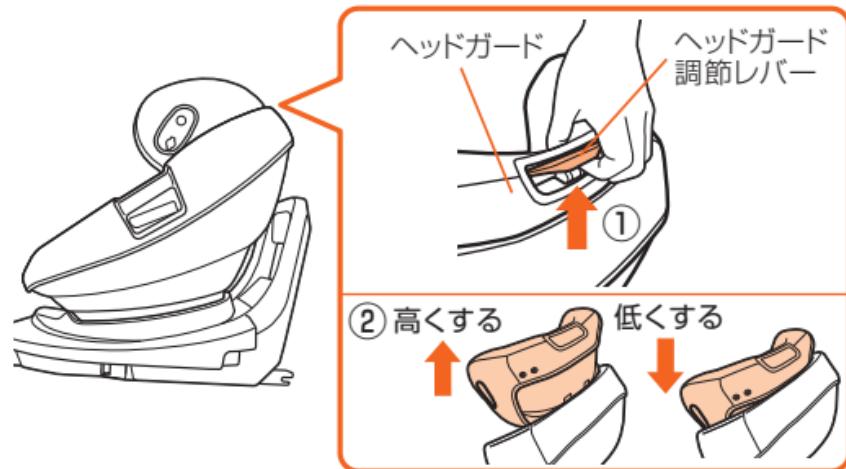
幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。



- 1**
- ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
 - ② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
- ※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2**
- ① ヘッドガード調節レバーを引き起こしながら、高さを調節する。
 - ② 適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離し、
 - ③ ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。

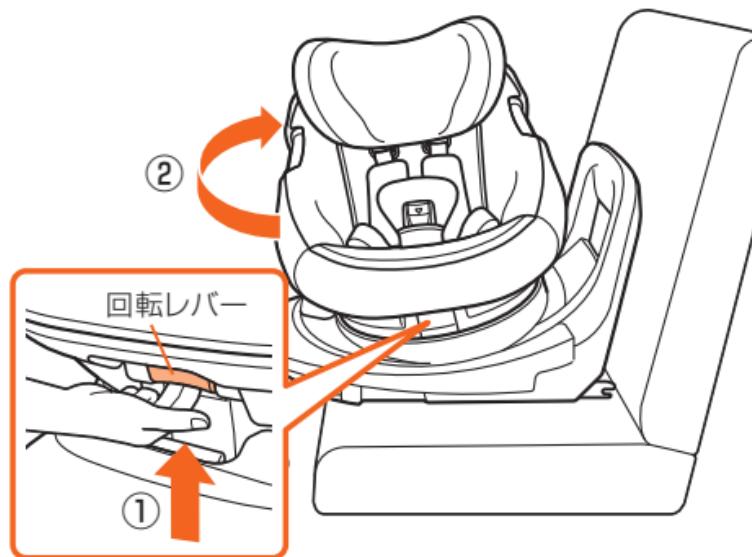


幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まり、ゆるんだりします。
お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置を調節しないでください。

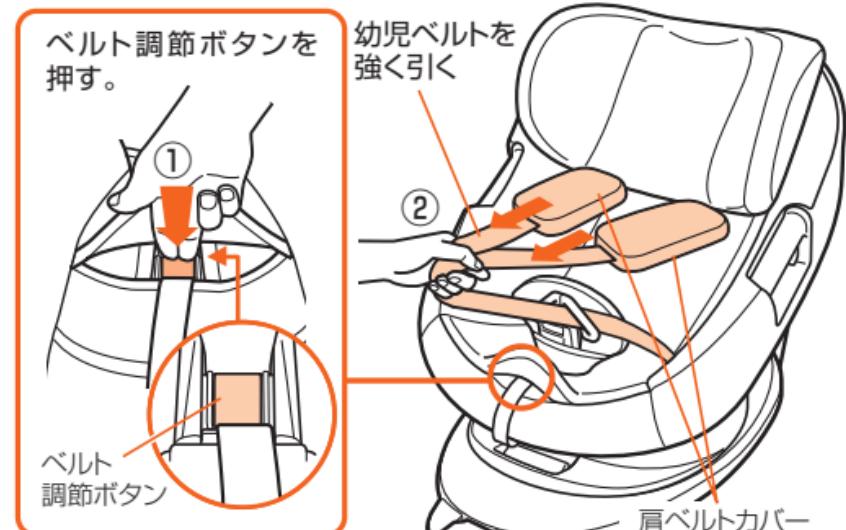
お子さまの座らせかた

各部の使いかた

1 お子さまを乗せやすくするため、回転レバーを押し上げながら、シート正面をドア側にまわす。



2 ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 3**
- ① バックルボタンを押し、タングをはずす。
 - ② お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。
 - ③ 左右の幼児ベルトがねじれていなか確認する。



- ② インナークッション使用の場合には、インナークッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。



!
警告

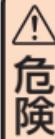
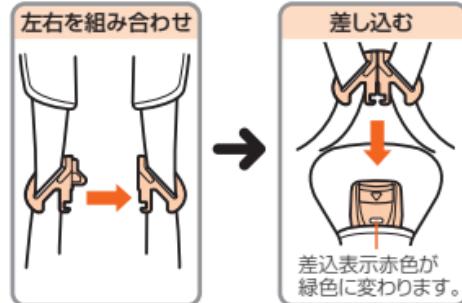
- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束できない場合があります。
- おくるみなど、両足が分かれない衣類の着用はおやめください。
- お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしてください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



お子さまの座らせかた

4

- ① 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。
- ② バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。



- チャイルドシートの差込タングがしっかりとバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。
- タングをバックルに差し込んでもインジケーターが「緑色」に変わらないときは、ご使用にならないでください。



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないよう強くしてあります。
- 左右のタングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

5

- ① 幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと拘束するように、低く下げる。
- ② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
- ③ 調節ベルトを手前に引き、
- ④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

④ 手のひらが
入る程度に
調節する。

③ 調節ベルト
※調節ベルトの下
側は引かないで
ください。



必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

6

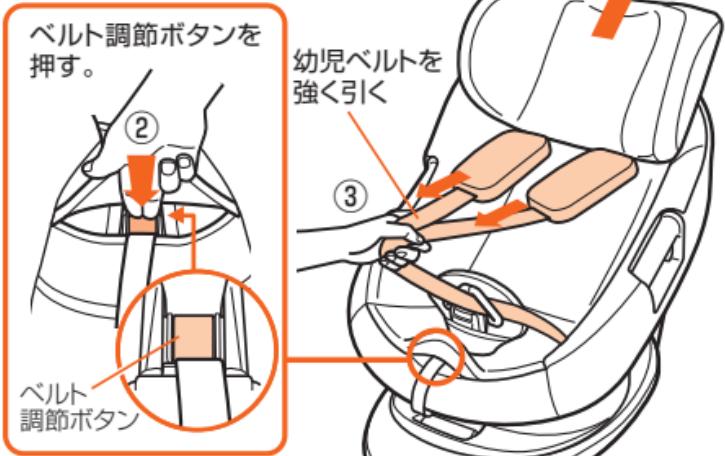
シートを後向き、または前向きにまわす。

ワンポイント

インナークッションを付けた状態で、幼児ベルトを最大に伸ばしても短いと感じる場合にはヘッドガードの高さを最上段まで引き上げ、幼児ベルトを引き出し、ヘッドガードの高さを元に戻してください。

※お子さまを乗せる際は必ずヘッドガードをお子さまの身長に合わせた高さに戻してからご使用ください。

① ヘッドガードを最大に引き上げる



お子さまの降ろしかた

1

①ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
②左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。

※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

③バックルボタンを押し、タングをはずす。

④お子さまを降ろす。

ベルト調節ボタンを
押す。

ベルト
調節ボタン



取り付け準備

危険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- 本製品は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けないでください。

車への取り付け・取りはずし

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html

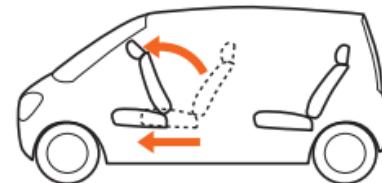


1

- ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。



- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



2

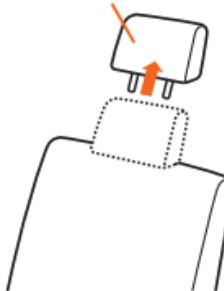
- ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。

※ 取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

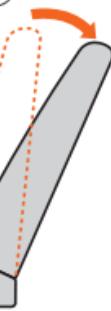
- ② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

①

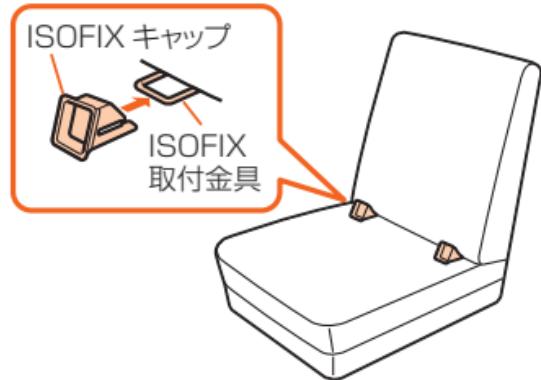
車両ヘッドレスト



②



3 ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



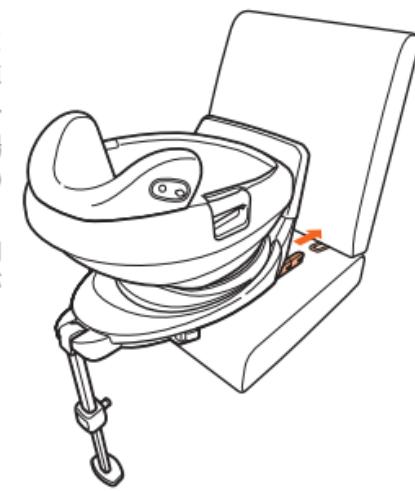
ワンポイント

ISOFIX取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けるとベース背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



ワンポイント

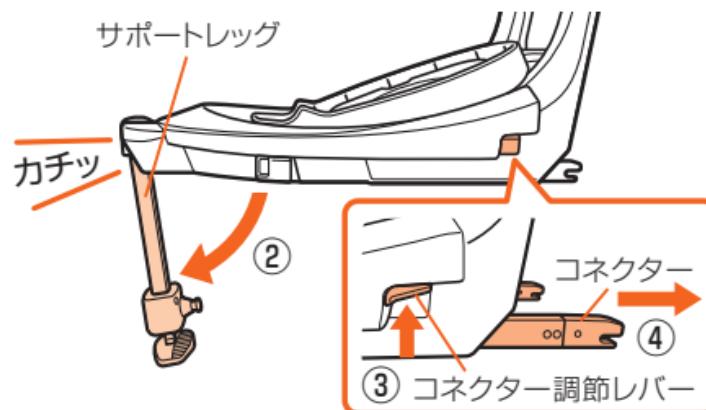
- シートは取りはずさなくとも車に取り付けることができますが、シートを取りはずすことで、車に取り付けしやすくなります。
- シートを取りはずさずに車に取り付ける場合、車への取り付けかたはベースのみ先に取り付ける場合と同じです。(「車への取り付けかた」参照)
- シートは、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは同じです。



車への取り付けかた

本製品は、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。

- 1**
- ① シートを取りはずす。（「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照）
 - ② サポートレッグを「カチッ」と音がするまで引き出す。
 - ③ ベース側面のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 - ④ コネクターを最大まで引き出す。
※ 左右それぞれ作業を行ってください。

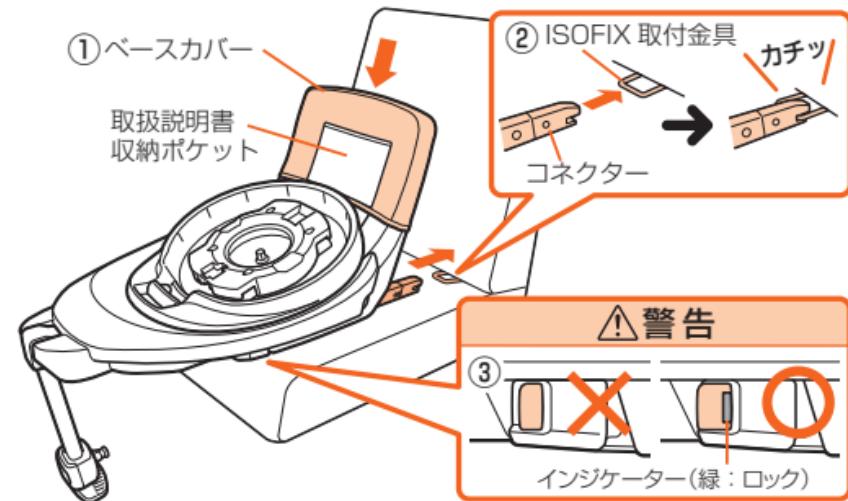


警告

必ずベースカバーを使用してください。

2

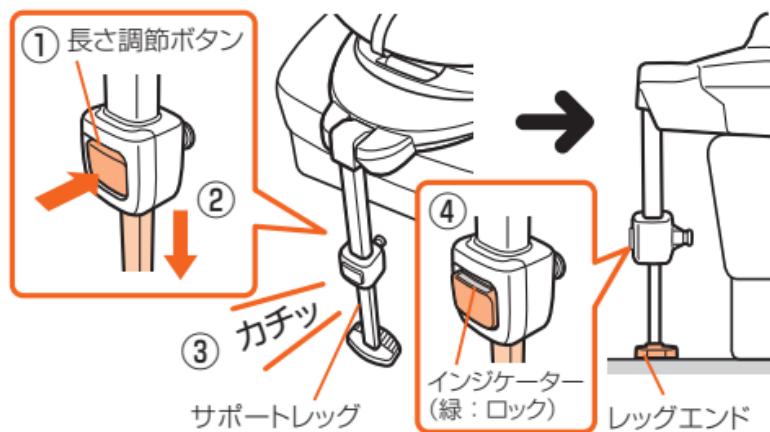
- ① ベースカバーを取扱説明書収納ポケットが内側になるよう取り付ける。
- ② 左右のISOFIX取付金具に「カチッ」と音がするまで、コネクターを差し込む。
- ③ インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



- 3**
- ① 左右のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 - ② ベース背面が車両背もたれに接するまで強く押し込み、手をはなす。
 - ③ インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。

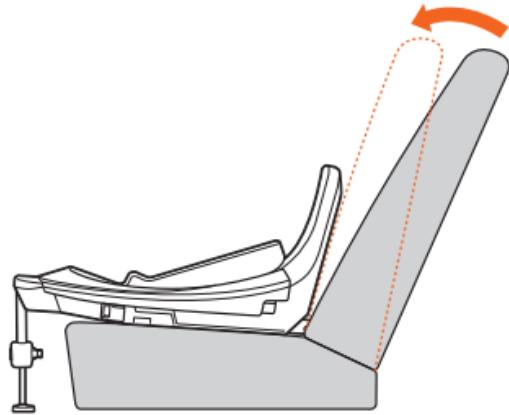


- 4**
- ① サポートレッグの長さ調節ボタンを押しながら、
 - ② サポートレッグがしっかりと突っ張るようにレッグエンドを車両の床まで伸ばす。
 - ③ 長さ調節ボタンを離し、「カチッ」と音がするまで、さらにサポートレッグをのばす。
 - ④ インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。

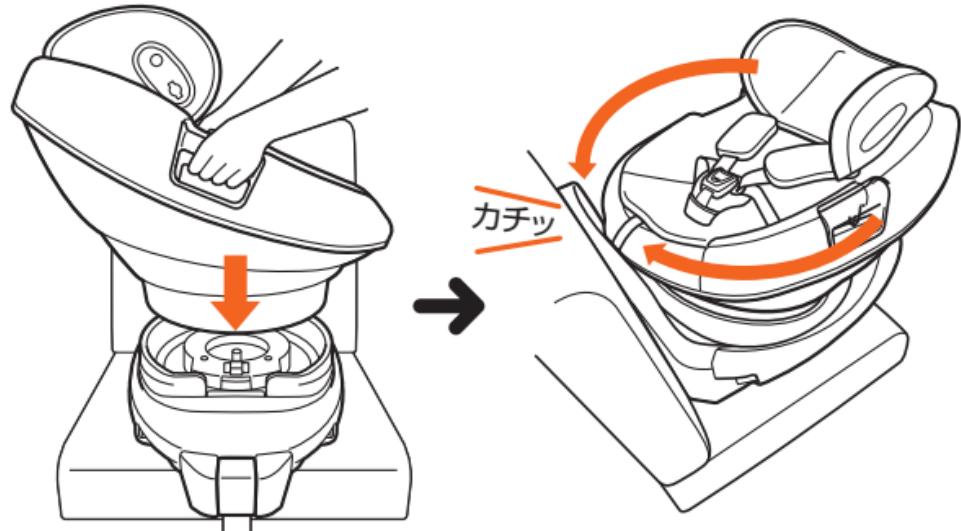


車への取り付けかた

5 車両背もたれがリクライニングできる場合は、ベース背面とのすき間ができるだけ小さくなるよう、角度を調節する。



6 シートを取り付ける。
(「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照)



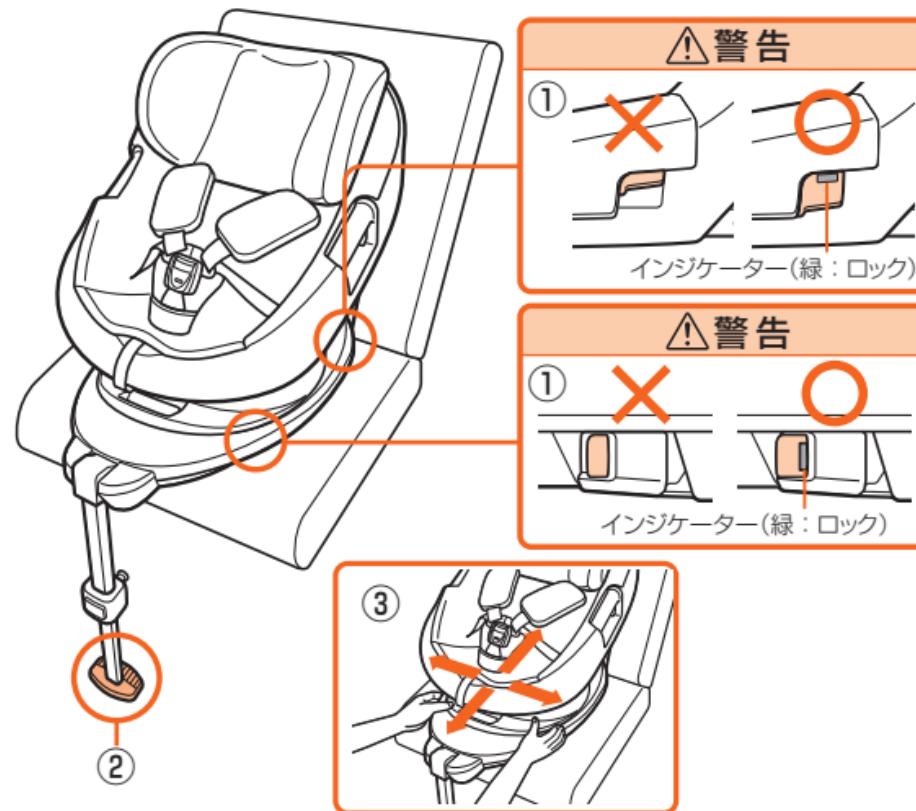
取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていること。
 - ②サポートレッグがしっかりと突っ張るように長さが調節されていること。
 - ③ベースを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。
- ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

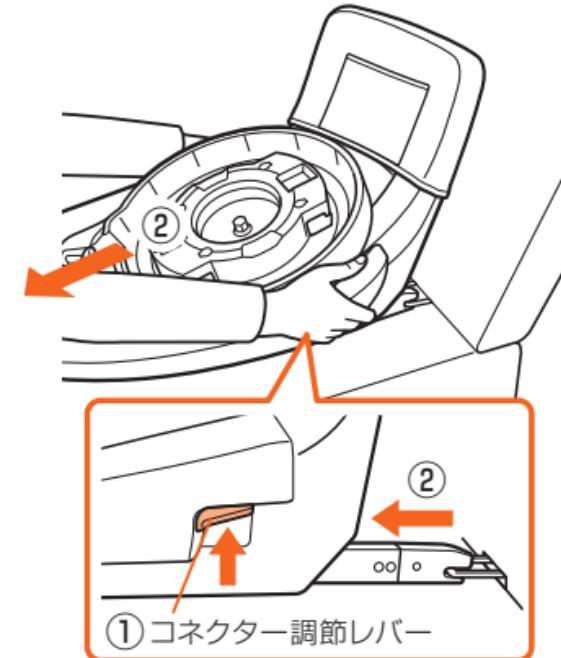
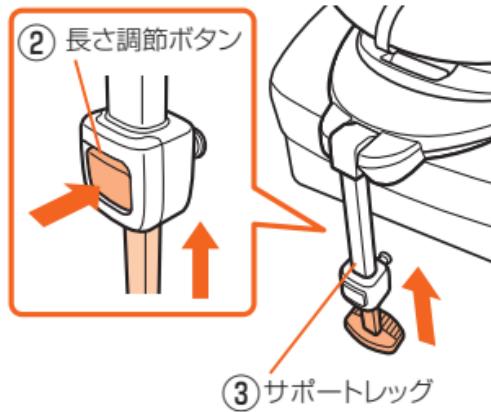
ワンポイント

- 車両によってはシートのひじかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。
その際は、ISOFIX取付金具ヘコネクターを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その際にベースを持ち前方向に引っぱり、ベースが動かず左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認した後に、②③の完了チェックを行ってください。

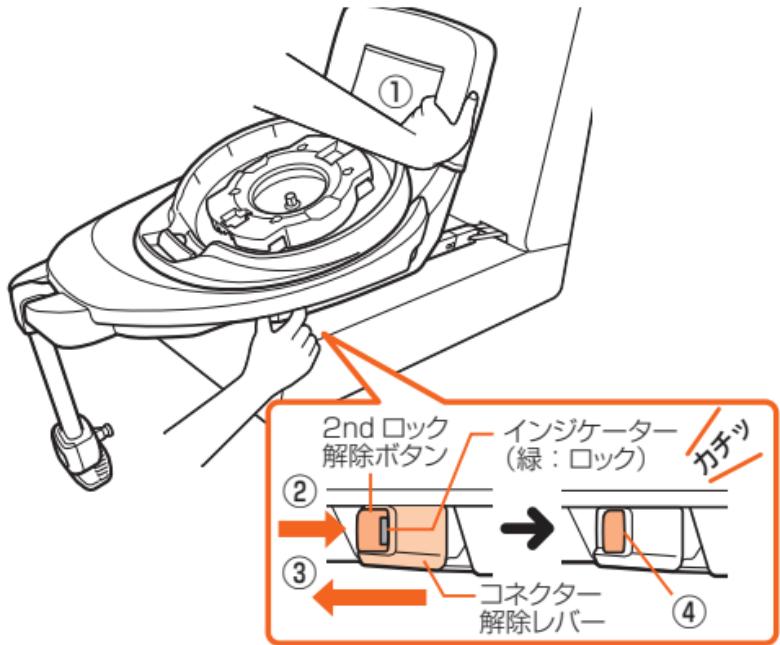


車からの取りはずしかた

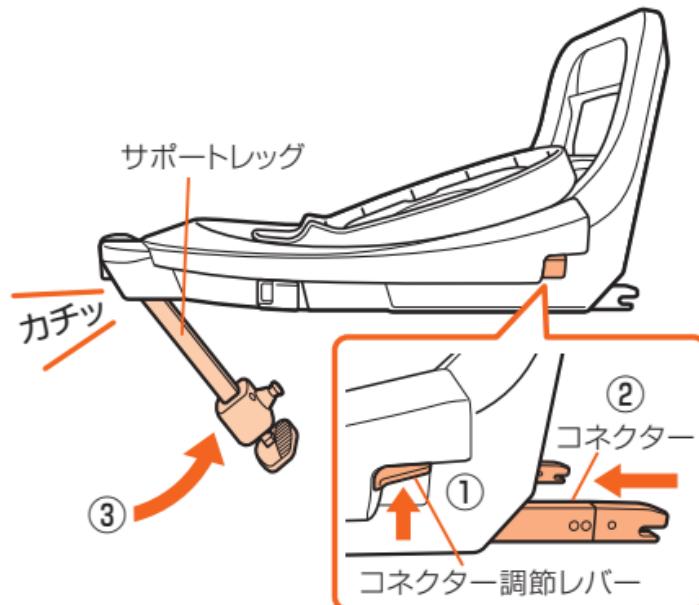
- 1 ① シートを取りはずす。
（「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照）
② サポートレッグの長さ調節ボタンを押しながら、
③ サポートレッグを短くする。
- 2 ① 左右のコネクター調節レバーを押し上げながら、
② ベースを手前に引く。



- 3**
- ① ベースの背面を片手で抑えつける。
 - ② 片側ずつ2ndロック解除ボタンをしっかりつまみながら、
 - ③ コネクター解除レバーをまっすぐ手前に引く。
 - ④ インジケーターがロック解除（「緑色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。



- 4**
- ① ベース側面のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 - ② コネクターを収納する。
 - ③ サポートレッグを「カチッ」と音がするまでゆっくり折りたたむ。



インナークッションの使いかた

お子さまの身長によって使いかたが異なります。

後向き(進行方向に対して後向きに取り付け)

使用する

身長 40cm ~ 65cm 未満

使用しない

身長 65cm ~ 76cm 未満

身長 76cm 以上



お子さまの体格や成長にあわせてベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる



前向き(進行方向に対して前向きに取り付け)



⚠ 危険

インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

⚠ 注意

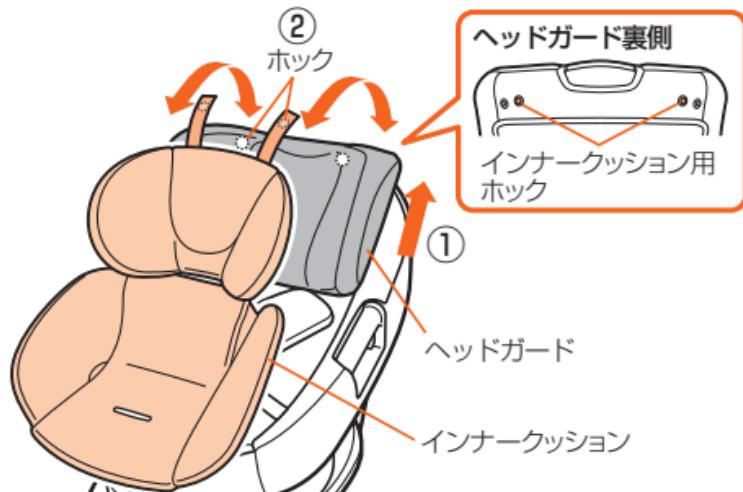
はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

インナーカッションの取りはずしと取り付け

① ヘッドガードを引き上げる。

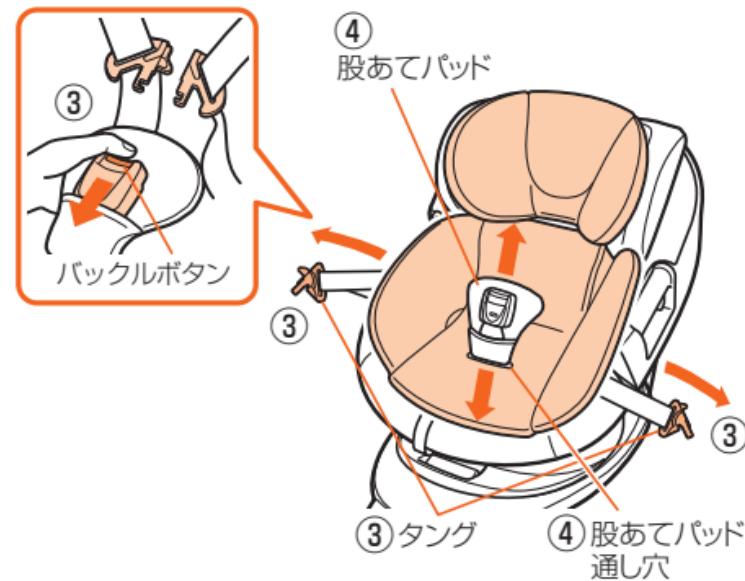
(「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)

② ヘッドガード裏側にある2カ所のホックから取りはずし、または取り付けをする。



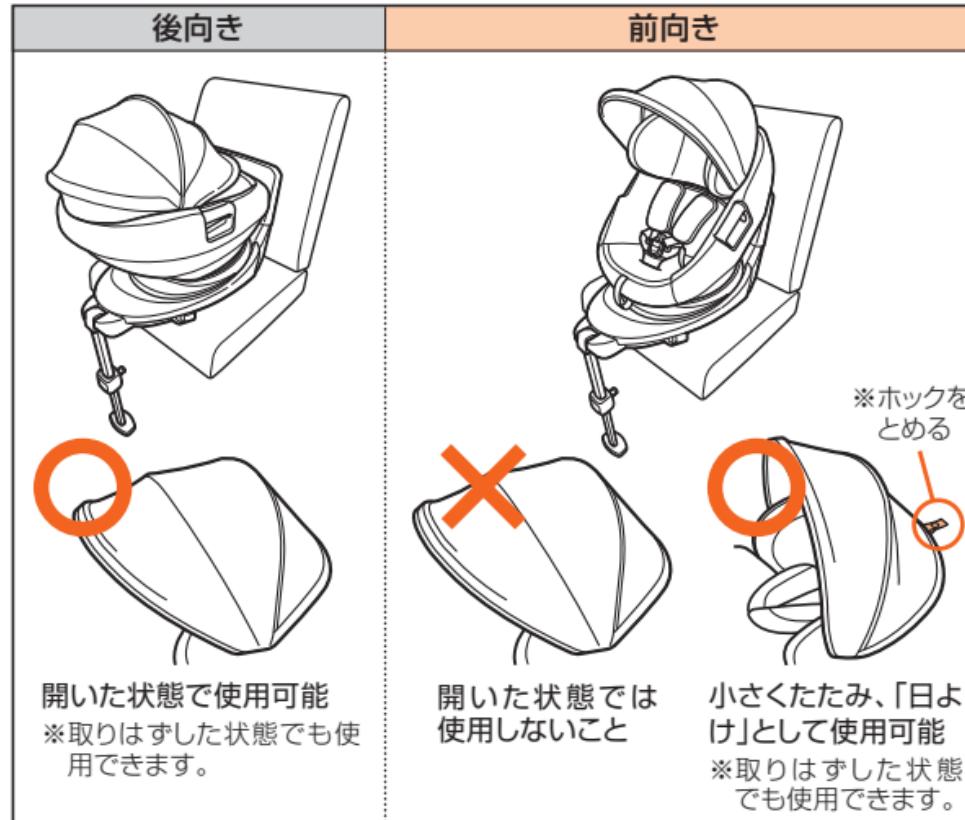
③ バックルボタンを押し、タングをはずす。

④ バックルを通し穴に通し、取りはずし、または取り付けをする。



幌の使いかた

シートの向きによって使いかたが異なります。



警告

- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触するおそれがあり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで使用するか、取りはずしてください。

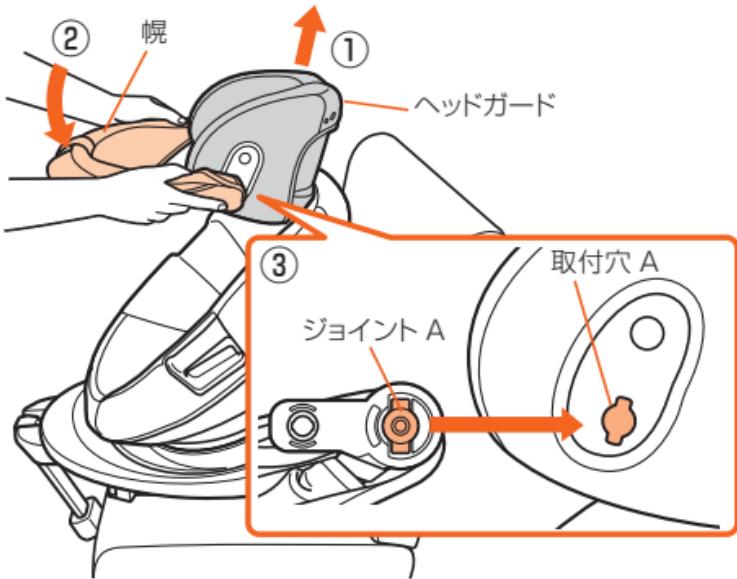
注意

- チャイルドシートを持ち運びするときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

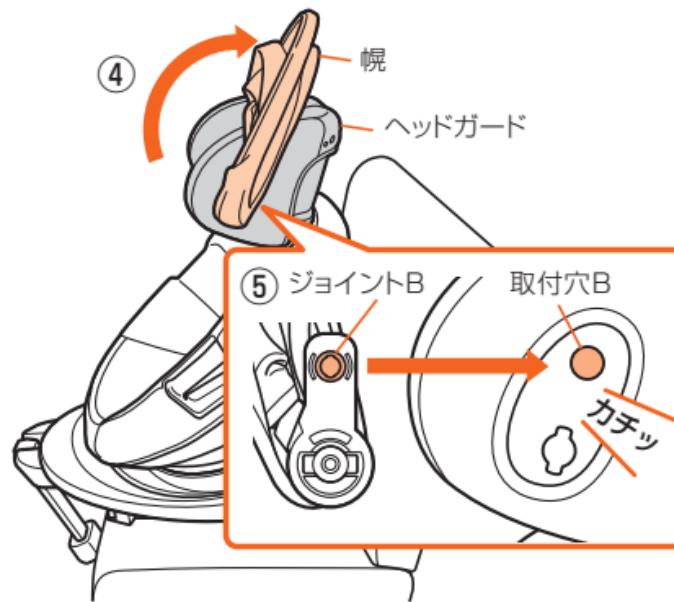
※幌は製品仕様により、形状が異なります。

幌の取り付けかた

- ① ヘッドガードを引き上げる。（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ② 幂を小さくたたむ。
- ③ 左右のジョイントAをヘッドガード側面の取付穴Aに形を合わせて、差し込む。



- ④ ジョイントAを中心に後方にまわしながら、
- ⑤ 左右のジョイントBをヘッドガード側面の取付穴Bに「カチッ」と音がするまで差し込む。

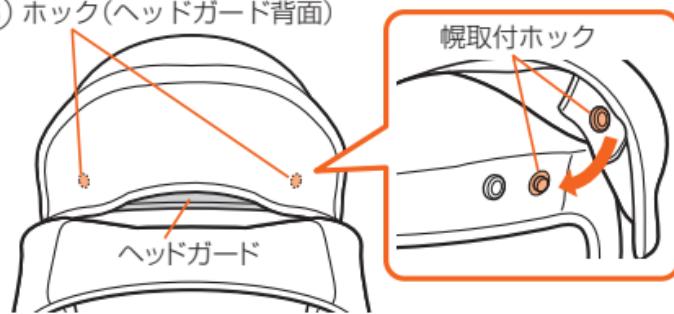


幌の使いかた

幌の取り付けかた

- ⑥ 幌背面のホック(2カ所)をヘッドガードカバーの幌取付ホックに取り付ける。

⑥ ホック(ヘッドガード背面)



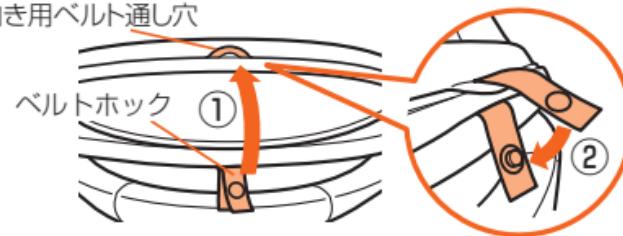
警告

幌背面左右のホック(2カ所)が、ヘッドガードカバーに取り付けられていることを確認してください。

前向きで使用するとき

- ① 幌背面にあるベルトホックを幌上部にある前向き用ベルト通し穴に通し、
② ホックでとめる。

前向き用ベルト通し穴

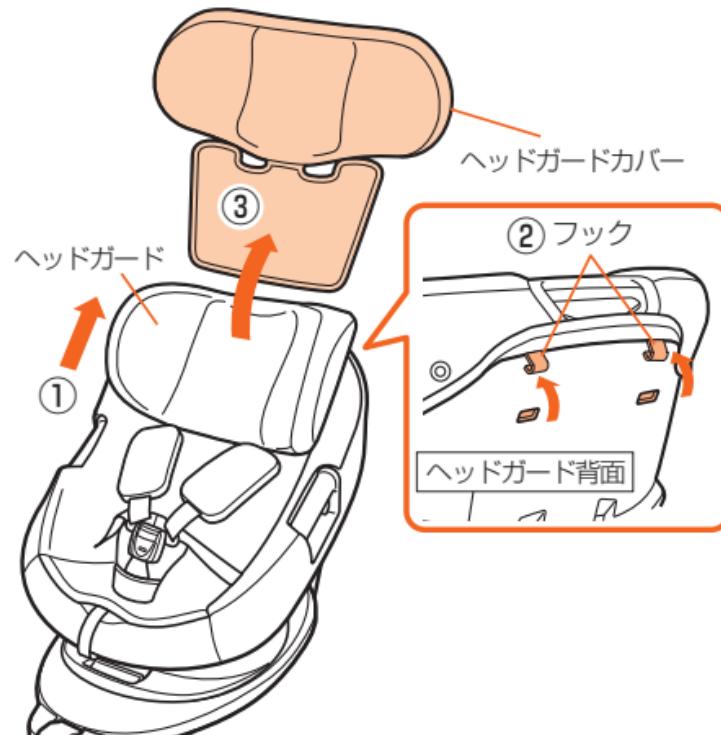


カバーの取りはずしかた・取り付けかた

幌を取りはずしてから、カバーを取りはずしてください。

ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

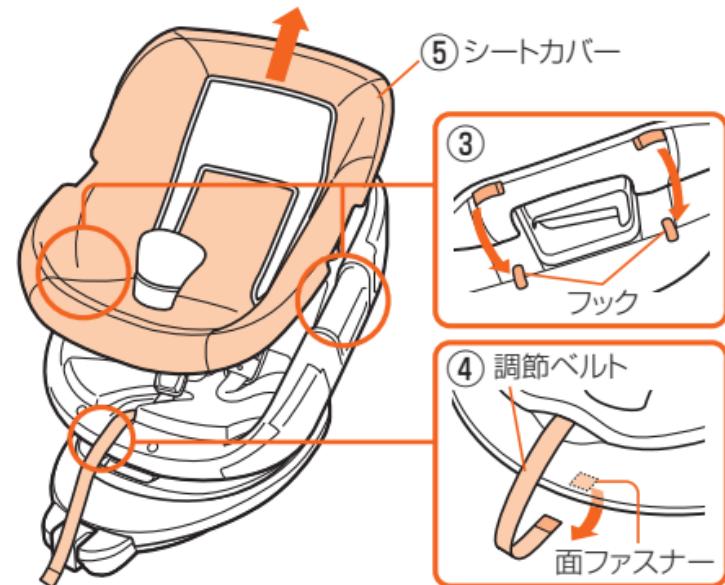
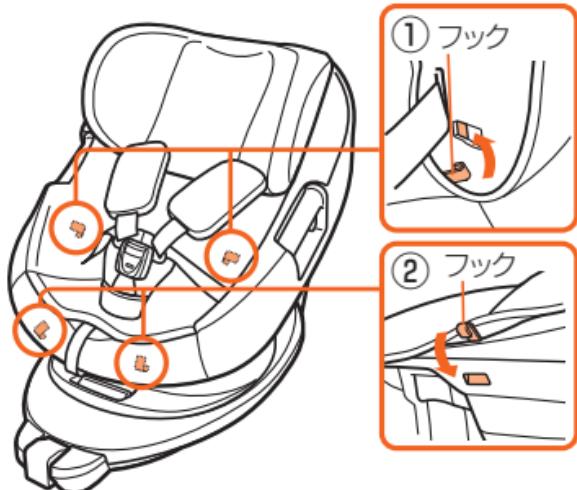
- ① ヘッドガードを引き上げる。
(「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)
 - ② ヘッドガードカバー上部裏のフック(2カ所)を取りはずし、または取り付けをする。
 - ③ ヘッドガードカバーを取りはずし、または取り付けをする。
- ※ ヘッドガードに取り付いているクッション材を割らないようにご注意ください。



カバーの取りはずしかた・取り付けかた

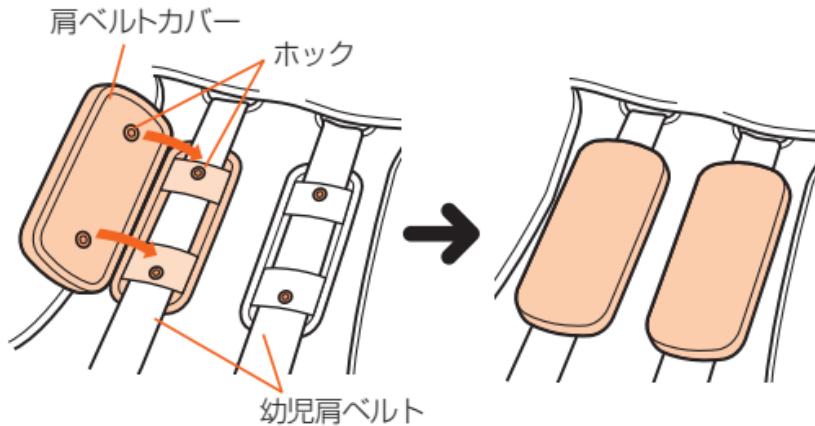
シートカバーの取りはずしと取り付け

- ① 座面の奥側のフック（左右各1カ所ずつ）を取りはずし、または取り付けをする。
- ② シートカバー前側のフック（2カ所）を取りはずし、または取り付けをする。
- ③ シートカバー側面のフック（左右各2カ所ずつ）を取りはずし、または取り付けをする。
- ④ 調節ベルト先端の面ファスナーをシートカバー裏側から取りはずし、または取り付けをする。
- ⑤ シートカバーを取りはずし、または取り付けをする。



肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

ホック(2ヵ所)の取りはずし、または取り付けをする。



お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- シートカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 横型洗濯機（洗濯槽が横、または斜めに向いている）をご使用の場合は、水量が少なくなりすぎないように注意してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 充分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

幌のお手入れのしかた

- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。

インナークッションについて

- インナークッションを洗濯するときは、頭部と座面に入っているクッションを取りはずしてください。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、ベースカバーの収納ポケットに保管してください。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後8年」です。

標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があり、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシユーマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	ロットNo.	保証期間
お買い上げ日より1年間 (ヘッドガード裏側のシールをご覧ください)		
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒	TEL
販売店	店名	TEL
	住所	

修理メモ

保証規定

- 1.一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 2.保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシユーマープラザにお送りください。
 - 3.保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 - 4.衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
 - 5.本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 - 6.製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
 - 万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - 領収書(レシート)を本書と一緒に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシユーマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - 品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

memo

Combi

コンビ
THE S
シリーズ

コンビ株式会社

■ホームページ

■オンラインショップ(部品購入窓口)

www.combi.co.jp

shop.combi.co.jp

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシユーマープラザにて対応いたします。

コンシユーマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く) ☎339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

■総合受付(各種ご相談)窓口 製品に関するお問い合わせ/修理のご依頼/各種ご相談/その他

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■部品相談受付窓口 部品に関するお問い合わせ

TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシユーマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く) ☎540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシユーマープラザホームページ www.combi.co.jp/soudan